

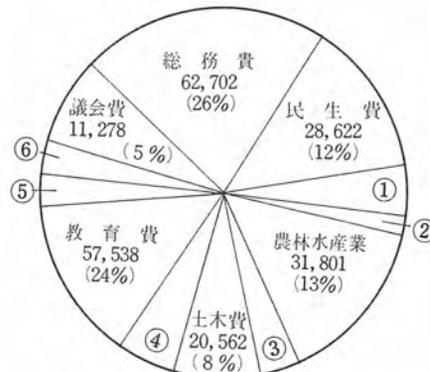
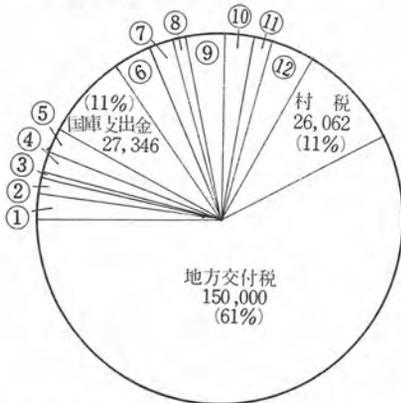


村 議 会

### 昭和47年度一般会計歳入歳出予算

歳 入 (単位千円)

歳 出 (単位千円)



2億4千3百10万3千円

① 自動車取得税交付金	2,800	1%
② 地方譲与税	1,257	0%
③ 交通安全対策特別交付金	1	0%
④ 分担金及び負担金	2,270	0%
⑤ 使用料及び手数料	1,036	0%
⑥ 県支出金	4,409	2%
⑦ 財産収入	2,007	0%
⑧ 寄附金	463	0%
⑨ 繰入金	7,000	3%
⑩ 繰越金	5,000	2%
⑪ 諸収入	1,152	0%
⑫ 村債	16,400	7%

① 衛生費	8,806	4%
② 労働費	423	0%
③ 商工費	748	0%
④ 消防費	9,402	3%
⑤ 公債費	6,967	3%
⑥ 予備費	4,254	2%



蓬田村公民館報  
 【蓬 門】第83号  
 発行所  
 青森県東津軽郡  
 蓬田村公民館  
 印刷所  
 第一印刷

＜世帯と人口＞  
 世帯数 990  
 人口 { 男 2,386  
       女 2,477  
 計 4,863  
 (47.3.31現在)

「蓬門」原稿募集  
 「蓬門」の原稿を募集いたします。  
 どんなことでもよいです。原稿を送って  
 下さい。

原稿送付先  
 蓬田村教育委員会

# 赤倉大明神奉納登山印象記

## 吉崎 慶次郎

昭和五、六年の頃農村恐慌時代であつたように記憶している。殊にも昭和六年は山背が吹き続き深刻な冷害に見舞れて飢渴であつた。前の年米一俵七円五、六十銭相場が六円五、六十銭に暴落し不況と飢渴のダブルパンチで生活が極度に窮乏しことに小作農民の生活が言語に絶するものがあつて十円の債務保人にも苦勞し奔走したものである。貧困から雇用斡旋の甘言に欺かれて可愛い娘をネオンの色街に身売りを余儀され恥辱と悲劇の運命を背負われ社会的にも恵まれない時代でもあつた。その頃雇用の道も狭く生活を大きく支えてくれたのは木炭であり、わゆる炭焼きであつた。角炭一俵（十五キロ上物）三十五銭で売れると手をたいて喜んでいたのである。焼子は毎年収穫が終ると取納の疲れを慰む暇もなく炭材を追いかけて沢のなだらかなところに笹やこま葺きの屋根、外壁は笹やこもで囲って鳩の巣のような粗末な窯場、作業場、ねぐら（寝所）などに区切られた一構の掘り立て小屋掛をする。そのねぐらに半は常居し風雪を衝いて寧日なく四十七世帯の作業が展開されるとあつて集団生活が始まり恰も分村的集落が形成された。員数が四十七人あつたことから山頭（首長）は赤穂義士の大石内蔵助と自称して四十七士のニックネームで相互の意

志疎通を図り全力を結果して増産に精進したものであつた。その炭焼き連中が昭和十年頃蓬田山の高峯赤倉岳に神様を祀り赤倉大明神と命名して山の安全と地域住民の安泰を祈願したものであつた。炭焼きは主として農作業の合間や冬季に行なわれ包装用のスコヤ細も自産でまかなつた。山元から自宅までの運搬も必然的に焼き子のベースに合せて行なわれ小学五、六年の児童まで放課後スコヤを編ませ、家族ぐるみで慰む暇なく忙殺され、文字通り塗炭の苦勞を喫した。炭焼きといえは焼き子同志であつても炭粉で汚染されて土人のように黒い顔や浮浪児みだいな身なりは顔を反向けたくなる程いやな容貌で炭焼きには可愛い娘っ子を嫁がせるなど嫌れたものでもある。こうした潜在的意識が反映してか農家経済の向上と他産業に雇用の道が拓けたこともあつて、いつとなく地すべりの昭和三十五、六年頃までローソクの火のように消えてしまった。と同時にその傾斜に伴つて登拝する人々も少なくなつたのも事実である。雨来三十数年の風雪で御堂や御神体も痛ましい程荒廃損傷していることがたまたま登拝した蓬田農事研究会から再建について具体的な構想を以つて提言され部落住民の快よい奉賛と相俟つて実践される運びになつた。鎮守八幡宮の秋季例祭が行

なわれることになっており、その佳き日までに御堂を造営し御神体を新しく整えて奉納することになり作業が進められた。恥て例祭の当日八幡宮社殿で田川宮司によつて厳かに御堂は清められ、御身体の入魂式を済ませ若男女八十数名が自動車に分乗して午前十時三十分出発することになった。幸にも碧空高く晴れ上り、秋の澄きつた青空に浮絵のように聳え立つ赤倉岳を指顧に仰ぎつゝなんとも形容し難い晴ればれした情らかな気分で稔りの田園を縫い、阿弥陀川林道を経て一路赤倉岳に向つた。恥て登山入口で下車し御堂は六名の青壮年が口つぐことになった。御堂は八十七キロ余とあつて渾心一体となつて神に奉仕を尽す真心を通わせざるきつな（綱）を御堂より張りそれを確かりと握り締めて赤倉大明神と墨痕鮮やかな轍り一對を先頭に一糸乱れず出発することになった。サイキサイキの登山難しや太鼓のメロデーは静寂な山あいに流れ一行に奮起を促すかのように、こだまし弥が上にも意気が昂り部落あげてのにぎ賑しい情景は昔日の岩木登山を思はせて意義深い奉納登山となつた。帯を繰り展げたような細い路が進むにつれて手入れがおろそかになり根曲り竹や灌木が無雑作に繁茂し路を覆い肩を締め連絡をさまたげた。ここに御堂は阻まれて強まいたブレーキがかかつて行進を止らせ破れをさくする要固となつたが、登山難や太鼓のメロデーに勇気が培われて疲れの表情を見せずに七合目ぐらゐのところで休憩することになった。このあたり一帯はうっそうたるブナ林に包まれ起伏もゆるやかにか

つては根曲り竹が叢生し箭の名所地としてなじみの深いところであつた。四、五年前の根曲り竹異変で全滅したであろう枯死しその残骸は濃い灰色に変わり惨しい風景であつた。こゝから三、四十米下ると左に折れる路があるその路を西北に進むと赤倉岳から指呼に相對する海拔五二、三十米の白樺平（かびて）に通ずる。昭和十九年は二年続きの凶作で更に十六年は打続く山背で出穂期にみぞれが降つて遅延型に推移し致命的被害を与え六年に次ぐ最大の飢渴となつた。かかる宿命的に襲う飢渴にひどくためつけられた傷跡が癒はいとまなくまたまた昭和十八年は飢渴に見舞われた。その年大東亜戦争もたけなわとなり食糧不足から食管法による米の事前割当となり指示された数量が至上命令としてきびしく義務づけられた。肥料も配給制度となつて量も少なく青森市内から人糞尿やかまぼこ製造所から魚のジャッパ（残骸）等をかき集めてきたものの施肥を充すことができなかつた。かくして凡ゆる手段を尽し心血を注ぎ努力した苦勞も報いられず飢渴になつたのである。収納した米はきびしく買い上げられ闇値で一俵一二〇〇円前後であつたのにタッタ二十、三、四で耐之生活を強いられた時代でもあつたが余りも惨めな生活に迫られた。一方炭も軍需品として登場し増産が強調されるうへに飢渴と相俟つて倍増の奮起を促されて所詮常識で想像もつかない採伐末踏の白樺平で炭焼きを余儀なくされたのである。白樺平は採伐の処女地であつてその名にふさわしく白樺は間隔なく一帯に

林立し葉幹がはつきりと色彩を異にし朝日に映える景観が素晴らしいものであつた。路が峻しく複雑に起伏し駄馬に中継するところまで約三、五キロであつた。この道のりを炭三俵背負い資材や食糧などを往復運び足がすくんでつまずきしばしば転倒し負傷したりことに背負繩が肩骨に食いこみその苦勞は体験した者のみ知る苦勞を喫したものであつた。時代の変遷とはいへ史上かつてない米生産抑制、減反ショック、転作ショック、ニクソンショックなどを背景に景気停滞説が新聞にテレビに伝えられ、マスコミにささやかれている、このきびしい世相下にあつても雇用の道も拓け、なにつ取上げて見ても倅せな活気のある生活であるこうした恵まれた社会制度下にあつて必死の努力も実らず苦勞から脱皮できなかつた昔の態々な姿が走馬灯のように頭の中に展開され感慨無量となりつきない思出話にはずんだ。休憩が解れて出発することになった。目と鼻の先は這い登るような急斜面で八合目、九合目がこれを遙るかに凌ぐ峻しく複雑な傾斜とあつて稜目は自から八十七キロ余のお堂に集り一瞬表情が堅くなった。お堂より直線に張られたきびなすがみつくもの推進力となつて全力を傾注するもの、必死になつてお堂を荷なううごめく重い足どりお互に激励し励し合い一同揮然一体となり心の触れ合いで峻しい起伏を起え六才になる子供も参加したが一人の脱落者もなく吸い込れるように頂上にとどつた。と同時に汗と必死の苦勞から脱した歓声がどつと上つた。このあたり一帯は岩

### 豊水放談

## 太陽はいいな

「太陽はいいな」あたりまえのこととて、一日でも太陽が消えたとしたら地球上の生物はどうなるか位は言うまでもあるまい。

NHK「天下御免」の中で歌われた「川はいいな」近頃人気を呼んでレコード化して市場に出ているとか。あのドラマにも賛否両論があり、反対者の意見は「悲ふぞけすぎる」「マンガ的だ」「賛成派は「NHKカラーを破りハレンチなところがいい」「うまく現代を風刺している」(日本農業新聞)

主人公の平賀源内はどんな人であったか、いつ頃の時代であったか調べてみたら、宝暦年間(一七五一)から明和(一七六四)にかけて文化人として、又発明家として有名であった。現代の小説の原点ともされる「根南志具佐」(ねなしぐさ)を風欲、遊里の拙写を発表して人気を集めたことから考えて粹人であったことは立証に足る。明治二年に火流布(石綿)を発明している。化学者でもあったのである。(日本の歴史)

「太陽はいいな」から「川はいいな」に横すべりして申訳ないが関連を考へ横道に入ったわけで、「太陽を返せ」「太陽を盗むな」こんなビラや言葉が大都市から地方都市まで拡がってきた。

大都市では、高層ビルが乱立し、加えて高層マンションが建つてその陰になる住家が陽のあたらない谷間となる。現在まで永々として歴史の積み

重ねからきた住民感情としては、生活環境をおびやかされ、緑先に陽が光り、中庭には洗濯物を干し日光浴も満喫してきた環境を高層ビル、マンションにさええられ、昼も電灯を灯さなくては生活も出来ず、洗濯物も家の中に汗臭ストーブを据えて干物をせねばならぬことになる。当然抵抗と反対するのは生活の既得権を守るため当然生じる社会現象としてやむない手段と言えよう。

現在の法律ではそれを規制するものがなく、単に都道府県で基準認可すれば業者は陽があたろうがあたるまいがなんの関係もなく建てることになる。そこでその地域住民は組織を以て反対し、市民に呼びかけ反対闘争までに実行行使に出て来るわけである。

その相言葉として「太陽を盗むな」「太陽を返せ」と叫ぶ。所以はここに生じるわけである。これについて美濃部東京都知事はテレビを通して「小数のマイナスが生じても大きなプラスに通じるならやむを得ないことになる」。なかなか革新知事として歯切れの悪い言い方をしている。

大都市の現象と対岸の火事みたいに傍観している問題ではないと思う。地方都市青森、弘前あたりにもその波が押寄せて来ることは必然とみなくてはならないだろう。農村に住む我々としてピンとこないものがある。

税金のかからない新鮮な空気を腹いっぱい吸い、顔が陽やけして真黒になる程太陽の光を浴び、都市然の恵みを受けてなんの不満不足

があるのかと言わざるを得ない。それでもふるさとを捨て、自然を捨て、大都市に集中する若者の多いのに驚く外はない。

農家に働いて農産物生産によって生計を営み得る限り「太陽を返せ」「盗むな」などの言葉は無縁のものであろう。太陽の恵みがない限り農産物の生産はおぼつかなく、その日照の限度によって豊凶の占いが判然と現われるからである。

年中陽を見ることの出来ない生活に耐えがたく、縁の下のモヤシムたいにヒョロヒョロとなって農村に帰ることも考えられることで、その時こそあたたかく迎える環境と生活圏の整備環境を作ることはこれからの行政の急務といえよう。

突然降って湧いたようにマスコミされたダム島に二十八年間も生存した旧日本兵、横井庄一氏である。無事収容されたが、二十八年間も社会と隔絶し、何如に世の移り変わりも知らず、聞くもの見るもの皆な不思議なものばかりでなに事も信じていることが出来ないようであった。

どんな生活をしてきたかは、竹やぶに穴を掘り雨露を凌ぎ、コウモリ、カタツムリ、河えび、木実等をとって飢を凌いできたと、水は毎日のスコールによつてとり塩は海水を以てあてたとのこと、ダム島には毒蛇も猛獣もおらず蚊がいるがマラリアとか伝染のものもなく、気温も平均二十八度、自然の恵みが彼を二十八年間も生かした最大の理由とならう。シベリアや東北のような地では到底一年も生きることが出来ない。太陽はサンサンと輝き暑さをやわ

肌にしがみつくように生えた樹木は淡い紅葉に彩どられて素晴らしい景観で一行を迎えてくれた。お互に足とりを振り返り支いられ支えなくなった友情に感謝しににお堂に始終懸命に奉仕に尽した労をねぎらい、合い和氣あいあいの雰囲気漂う中に農事研究会員が予め用意したコンクリートの基礎にお堂は手ぎわよく建立された。大明神も厳しゆく神に奉納し装いも新たな神前に数々の品が献納されて感激も新たにかしわ手打つて拝む表情も微笑を湛え満足感がうなづかれ次々時代まで心の古里として親まれ尊ばれるであらうと思ふとき感慨一しおのものがあつた。この地は海

らげるかのようにスコールが来る。大いなる奇蹟の中に自然の恵みを知らねばなるまい。狐独に耐え生き抜いたことは、そのような自然があつたに外あるまい。

日本列島に自然の美は沢山残っている。然し年々観光等にカコつけて破壊してゆく、環境庁長官大石氏はそれをなげき、保護しようとして努力している。

自然環境の整備こそ人間の生存の可能性があるのだ。動物も植物も住めない環境に陥入ったときこそ人間も住めなくなるのである。こう語っている。

「川もいいな」「海もいいな」「山も森もいいな」「太陽はもつといいな」これが人間の住めるほんとうの極致ではなからうか。太陽を知らない人、幸と言えようか。太陽の光も知らず、科学万能で何年生きることが出来る。農村には絶えることがない。裏を返せばこんな幸なことがある

抜五三九米とあって晴天下視界が良く展げ眺望千里西は日本海没いに鯉ヶ沢方面北は今別三鹿に至るまで東は八甲田や夏泊半島など秋の気配が忍び寄るもろもろの景観を呈し爽快感を醸成する。殊に吾が郷は下北半島と夏泊半島そして紺碧の青森湾を背景に西に展開する条理整然とした田園は区画も鮮明で稔りの黄金の色彩は午後の陽ざしに映えて素晴らしい美観を見せてくれ、豊かな自然の環境に恵まれて育ちまわっていることを今更らもろの感激を胸に秘めて名残を惜んで下山し、部落公民館で小宴を催し労をねぎらい、合い開散した。

だろるか「太陽はいいな」……(一九七二・一・二六)



蓬田幼稚園

蓬田幼稚園開設される  
東部で平館に続き当村にも公立の幼稚園が旧広小校舎を利用して五月一日開設されました。

# 七月から五百五十円

## — 国民年金保険料 —

皆さんもごぞんじのとおり、昭和四十五年に年金額が大幅に引き上げられたため、今年の七月から保険料も五百五十円になることになっております。

加入者の中には、もつと保険料を引き上げてうけられる年金額を多くしてほしい、という声もありますが、急激な保険料の引き上げでは納められない人もあるのではないかと、昭和四十五年七月から四百五十円、四十七年七月から五百五十円と除々に上げることとされたものです。

四十七年からは六月まで四百五十円、七月からは五百五十円となりますので、おまちがいのないようになしてください。

### 国民年金だより

あなたは大丈夫ですか？  
古い保険料は早く納めないとな  
大変！

国民年金の保険料は二年以上前の分は時効になり納められないことになっております。

しかし納め忘れていた人たちの中には、そのまましておきますと年金をうける資格がなくなってしまう人もいます。そこで特別に時効になりました保険料も納められることになりました。

納付できる期間は今年の六月三十日までです。

未納になっている期間のある人は早めに納めてください。特に昭和五年以前に生まれた人は未納期間が四年以上もありませんと年金が

うけられないことにもなりますので、ぜひこの機会に納めて年金をうける権利を確保してください。

納めるときは役場国民年金係へおいで下さい。分割で納めることも可能です。

### 増額年金(所得比例制)を

かけませんか

一年金が上積みされます

現在 国民年金の老令年金の額は二十五年かけ金を納めた人で月八千円です。夫婦二人で一万余円です。

これからの世の中は年をとっても昔のように子供にも頼れないしこれだけの年金では老後が不安だという人たちのために増額年金(所得比例制)が設けられています。

この制度は、毎月納めている四百五十円のほかに、月三百五十円を納めてそれだけ多い年金がうけられるものです。

増額年金をかけますと、定額の八千円のほかに、二十五年納めた人で月四千五百円プラスされます。夫婦のうち、夫が増額年金をかけたおれば、夫の年金一万二千五百円、妻の年金八千円で、夫婦で月二万五百万円の年金が支給されます。

この増額年金には国民年金に加入している人であれば、だれでもかけることができますから、豊かな老後のためにぜひかけましょう。

また、国民年金の加入者で、五反歩以上の田畑のある 農家の経営主は、農業者年金に加入する

ことになっていきますが、同時に増額年金(所得比例制)も必ずかけていただくことになっていきます。

これは、特に農業をやっている人により十分な老後のくらしの保障をするために考えられたものです。

増額年金をかけてみたい人は、あなたの国民年金手帳の記号番号

## 村民二月登山について

去年から実施しました村民一月登山は、去年皆様の希望の中に春の芽の出る頃と、秋の紅葉の時期の年2回実施してはという要望があり、これを今年から実施することになり、これを今年から実施することになり、春の登山を五月に計画を組んでおりましたが行事の調整がつかず6月中旬頃実施しますので村民の参加をお願いします。

場所は去年と同じ大倉岳登山コースです。



昨年の一 日登山

住所、氏名およびいつからかけたかを、お手紙でも結構ですから国民年金係へ届けてください。そうしますと、のちほど保険料の納入などについてお知らせします。

国民年金をもらうのはまだまだ先のこと、と思っていましても、新しい年を迎えるたびに、年金をうける日が確実に近づいています。

## 税のメモ まちがいやすい 印紙税

不動産売買契約書や借用証書、領収書などの文書を作ったときは印紙税がかかり、文書を作った人が、決められた額の収入印紙をはり、消印として納めます。

印紙税のかかる文書かどうかは文書の標題や名称ではなく、その内容や形式、作目的などで判断することになります。印紙税のかかる文書はたくさん種類がありますが、収入印紙が必要かどうか、また、いくらの印紙をはったらいかなどわからないときは、遠慮なく税務署にお尋ねください。

### 少額預金利子の非課税扱い

一人元本百五十万円までは無税

①預貯金や合同運用信託、公社債投資信託、公債、特定の社債などは、預け入れ先の銀行などに対して、非課税貯蓄申告書 を提出しておけば、一人元本百五十万円までの貯蓄の利子に対しては、税金はかかりません。②国債は、前記の預貯金とは別わくで、額面百万円までの利子には税金がかかりません。③サラリーマンが、勤労者

財産形成貯蓄契約に基づいて行なう貯蓄は、元本百万円までの利子には税金はかかりません。

### 利子所得に対する税金

昭和五十年十二月三十一日までの間に支払われる利子に対する所得税は、次のようになります。

定期預金、貸付信託、金銭信託公社債、公社債投資信託、動労先預金などの利子については、①利子を受け取る際に所得税を源泉徴収され、その後の申告手続きのいらぬ分離課税(税率は、四十七年は二〇%、四十八年から五十年までは二十五%)と、②利子を受け取る際に十五%の所得税を源泉徴収され、ほかの所得と合計して確定申告で精算する総合課税のうち、どちらか有利な方を選択できます。

### 自動車重量税のあらまし

自動車重量税は、急激に増加する自動車に対処して、道路などの社会資本を充実するための財源として創設され、昭和四十六年十二月一日から施行されます。

1 自動車重量税は、道路運送車両法の規定により自動車検査を受ける自動車および使用の届け出により車両番号の指定を受ける軽自動車に対し、その重量に応じて税金がかかります。

ただし、大型特殊自動車は無条件で、また、軽自動車のうち、すでに車両番号の指定を受けているものは、一定の手続きにより非課税とされます。

なお、原動機付自転車や小型特殊自動車は課税されません。

2 自動車重量税を納めなければならぬ人は、検査自動車や届け

# 蓬田村老人クラブ連合会

## 第六回定時総会

蓬田村老人クラブ連合会第六回定時総会が去る四月二十二日午前十時三十分より蓬田村公民館(玉松)において開催された。

会員四〇〇名中、二七三名が出席され、昭和四十六年度決算、昭和四十七年度事業計画、及び、予算など原案通り満場一致、可決になった。又米賓の助役、柿崎村議会議員、地元出身小野県議から、地域社会のために永年健全で働いて下さったことに感謝を申し上げ

いつまでも健康で豊かな余生を送られるように、これからの老人福祉の方向などについて力強いお祝いの言葉があった。

蟹田警察署長からは、年々交通事故が多くなって来ていることは大変忍びがたい。せめて管内から悲惨な交通事故の追放を計り、住民福祉向上のためにご協力を下さるよう要望があった。



老人クラブ総会

最後に益々壮健で年々クラブの繁栄を見ることが出来たことに感謝し、これからより一層元気で社会に貢献出来るよう祈念し、森民協総務の音頭により万才三唱し、十一時四十分頃総会を終了した。

十二時十分より、会員 婦人グループによりレクレーションがあったり、十四時五十分盛會祝に終わった。

- 顕彰者
- 満八十八才(榮寿)
  - 長科 張間金次郎
  - 郷沢 高田 タカ
  - 郷沢 高田 みよ
  - 満七十七才(喜寿)
  - 中沢 佐々木与作
  - 長科 杉本 みん
  - 阿弥蛇川坂本 琢金
  - 阿弥蛇川八戸 イヨ
  - 瀬辺地 地川 三助
  - 広瀬 工藤金太郎

### 青森県消防功労者表彰式

昭和46年度表彰式が4月25日農業会館で、県知事等多数の来賓者が出席し、消防長官表彰、日本消防協会長表彰伝達が行なわれ、我が蓬田村消防団も青森県永年勤続功労表彰旗、その他多数の団員が表彰され、町村会副会長坂本大博のパンザイ三唱で無事終了した。

表彰は次のとおり  
青森県永年勤続功労表彰旗  
蓬田村消防団

- 消防協会長彰
- 緑色竿頭 第四分団
  - 紅色竿頭 第六分団
  - 紅色竿頭 第一分団
  - 功労彰 団長 武井三太郎
  - 功労彰 第一分団長 吉田清光
  - 第二分団長 坂本秀行

- 永年勤続彰
- 第三分団長 青木 勉
  - 25年彰 坂本祐一他4名
  - 20年彰 川崎君弘他3名
  - 15年彰 坂本静夫
  - 10年彰 福井一二三他12名

### あの旗を上げよ

我が国ではいまま困っていることがたくさんありますが、その中でも交通事故が一番大きな問題だと思っています。

去年一年間に、交通事故で亡くなった人は全国で一万余千人あります。

この数は、蓬田村、の全人口の三倍以上の数で、けがをした人は、九万五千人、平館村、蓬田村の全人口の六〇倍以上の数であります。

私達が住んでいる蟹田警察署地区の交通事故も年々増加しており、去年は一昨年(四四年)の年の三倍にふえております。

特に今年、橋のかけか、パイパス、護岸工事、青函トンネルの工事等で、これまでよりもずつと事故が多くなるのではないかと心配されております。

蟹田地区の交通事故の原因を調べてみると事故の半分は、運転者がまじめに運転をしていないために起きており半分は、子供の飛び出しと、子供や老人が車の直前、直後に注意しないで横断したためであることがわかりました。

交通事故をなくするためにどうしたらよいかその答の一つが出ました。

それは、運転者はまじめに車を

運転することと子供は道路で遊ばないこと、子供や老人が道路を横断する時車によく注意することでありです。

スイスという国をご存じですか。スイスという国は、永久中立国家といつて自分の国の利益のために戦争をしないというのを早くから宣言したことや、時計、アルプス等有名な国です。

また、この国の人達はドイツ、イタリア、フランスの国の人達といつしよに住んでおながら、もめごとや犯罪が少ないということでも世界的に知られた国であつて、スイスの人達はこれのことを誇りにしております。

このスイスの国では、刑務所に入る人が非常に少なく刑務所にはいつも国旗があがっているそうです。

これは、罪を犯す人がないのはみんなが犯罪を起さないように努力したからだということ、国の人達に感謝の意を表した印だといわれます。

また、刑務所の旗が降りると市民は、罪を犯した原因が自分達にもあったのではないかと、自らの姿勢を正したといわれています。

いつのまにか、スイスの国の人々の間に刑務所の旗を降してはいけないという風潮が高まり、誰れが呼んだともなく、あの旗をあげ

出軽自動車の使用で、陸運事務所が自動車の検査を受ける際や、軽自動車の使用届けを出すときに、税額に相当する額の自動車重量税印紙(自動車重量税専用のも)をはって、陸運事務所(自動車検査場)の窓口に提出し、納めることになっています。

3 税額は、自動車の区分や重量により、それぞれ定められています。

よ々という運動がもりあがったという事です。

町の人達のアイデアで、警察署と役場に交通事故〇旗をあげておくことにしました。

旗があがっていないときはだれかがけがをし、あるいは死亡したことになるります。

悲惨な交通事故を私達の町からなくするために皆の努力が大切です。

〃あの旗をあげよ々々というこの運動が、村ぐるみの運動になったとき、町や村から交通事故がなくなると思えます。

(蟹田警察署長)

### 上磯朝野球

#### 開幕近づく

去年から行なわれた朝野球も今年で二年目を迎え参加チームは去年と同じ七チームですが、今年も県朝野球協会に加盟して各チームとも相当熱を入れた練習と取り組んでおります。

開会式は、六月十一日午前七時から蟹田中グラウンドで行ない、八時からトーナメントによる中野称争奮戦が行なわれます。

### 高根家庭教育級

一月十四日の一時〜三時まで高根小学校において開いた。出席者婦人一三名、男三名、児童男八、女一二、合計三十六名。

題 親の言い分、子の言い分  
司会は坂本公民館長。

話合の糸口として児童に対して、現在皆さんはどんな本をみておるのか。

子 マンガはあまりみない。

子 テレビでマンガをみるから。

子 今までみただんなのがよいと思つたか。

子 やせた豚がよかつた。

子 父さんと母さんはどちらもかけがいが無いと思うが、無理してどちらが好きだか分けたらどちらが好きか。

女子母さんが好きだ。(洗濯やなんでもお教えてくれるから)

男子父さんが好きだ(勉強してよく出来る)と好きな物を買ってくれるから)



高根小閉校式

親 親の方でなにか。  
五、六年生になると、なにか反抗的で呼んでも返事もしないうときもある。もつとすなおで欲しい。

子 家にかえるとき今日学校でどうしたか一番言われる。いちいち話さなくてもよいと思う。(反抗期に入っているようである)

子 高根では今頃どんな遊びをしっていますか。

子 今年は雪もなくスキーも出来ないし、家の中でオモチャのゲームなどして遊んでいる。

子 学校で宿題が多く、遊べと言つても遊ぶ時間がない。

子 学校側によく話して研究することにする。

親 親の方では小遣金をどの位くれているか。

親 一日二十円位くれている。

親 週二百円〜九百円位欲しい。(一日二〇円〜三〇円)

親 週単位か月単位に比べると子供は計画性に強くなるからよいと思う。

親 父と母とけんかすることがあるか。あつたらどう思うか。

子 口げんかでもしてもらいたくない。

親 反省して子供のおるときはけんかをしないことを約束する。母さんはきれいに化粧するのがよいか。

親 あまり感心しない。少し位ならよい。

親 母さんの作った料理をいつもうまいと思つて食べますか。

子 うまいときもあるし、うまいときもある。

親 二親(姉)がおる家庭では二度よく作れないときもある。子供の良いものだけ作るとも出来ないし、どうしても姉の好きな物を作ることがある。

子 だったら一日おきに作つたらよいと思う。それが公平だ。

子 好ききらいはあると思うが、なんでも食べるように努力する気がないか。

親 出来たら子供の好きなものと姉の好きなものを量が多くなるとも二種類考えたらどうか。

子 親の願いとして自分の子供がどんな姿で育つてもらいたいのか。

親 勉強もよく、体もよく育つてほしいが、そうばかり行かないと思つて、親に心配をかけない子に育つてもらいたい。

子 心配をかけないよう約束する。父も母も病氣などしないようお願する。

子 悪いことして叱られるとき、こんなに叱られることもないのにと感じるときもある。

親 だつたら叱られるような悪いことしなればよい。

子 自分たちが馬鹿くさいと、なんにもしないのに叱られるときもある。

親 そんなときがあるとするとならば、八つ当たりと思うが、そんなことに気がつければ、これから気をつける。

親 今月の話合はほんの一部であるようだが、お互いに話合を

### 村民の文化祭を

#### 青年の力で

蓬田村青年団体連絡協議会

藤田 修一

して効果があつたと思う。皆さんは社会教育の一員であると考え、遊びに自分の子供でなくとも危い遊びや悪い遊び、人に迷惑のかかるようなことは誰れでも注意し悟つてやるのが社会連帯性として当然と考えられるから、私も社会教育の一担当者であるとして自覚して行動に移すことによつて真の社会教育が肌につれた効果があると思う。今日はありがとうございました。

五月に入り、農作業も始まり、村民の皆様方には、これから忙がしい毎日の蓬田村に、中央公民館、玉松児童館等ができました。今年度には、村民総合グラウンド着工、中央公民館部落分館も設置されるそうです。これらの施設のおかげで、社会教育の場も非常に広がったわけですね。文化的活動もできやすくなりました。体育面では、体育協会等もあり、県民体育、村民体育等で活動しております。しかし文化面ではこれといったものがありません。

以前、私達が小学生の頃は、十一月三日、文化の日に中学校を利用して、大々的に村民の文化祭が催されていたような記憶があります。その後、どのような事情があつたのか、中止され、いまだに開かれておりません。

生活環境の変化が急激に進んでおります。より文化的な生活をするために発達する産業が、人間疎外という言葉さえ生み出しております。我が村もその例外ではないことがむずかしくなつてきている現状です。そこで、私達、青年団体連絡協議会では、潤いのある文化生活を確保するためと、レクレーションを兼ねて、「村民文化祭」を企画しております。期日は今秋、内容は検討中でありす。昔からある伝統的なもの、現代が生んだ新しいもの、我が村の産業に関したものの、芸術的な作品、生活改善に関したものと、村民が誰でも参加できるもので、村民が楽しみ、生活が豊かになるような内容造つてゆきたいと考えております。幸い、村民が協力してくれれば、村公民館も協力してくれれば、こと、経験のない私達青年は大いに助かつております。今年中には村史も発行するというところで、文学と実物で村文化を見ることが出来るものと思つてます。

村民の皆様方には、今秋、村民文化祭があるということを知っていただき、数多くの作品を出展いただきたいと思つてます。又、関係各団体には、御協力、御助言を心からお願い申し上げます。尚、御意見、お問い合せは、左記に御連絡下さい。

青協村民文化祭責任者 森 秀雄  
蓬田村教育委員会

